

經濟論叢

第195卷 第2号

徳賀芳弘教授退職記念號

献辞	江上雅彦	
論文		
古代メソポタミア会計研究の意義と可能性	工藤栄一郎	1
米国における政府会計基準審議会(GASB)の創設過程	大石桂一	21
国際会計研究の新展開 —先進諸国を対象とした定性的研究を中心として—	潮崎智美	37
財務諸表監査の変革 —KAMは日本の財務諸表監査を変えるか—	異島須賀子	55
退職給付に関する財務報告および開示の特性	小川淳平	71
のれんの会計処理に関する実証研究レビュー	宮宇地俊岳	85
のれんの会計処理に関する文献レビュー —基準設定主体等による調査とその検討—	山下知晃	115
非財務情報開示における「マテリアリティ」概念 の現状と課題	本川勝啓	133
Basu measure の誤謬 —リターンの skewness によるバイアス—	大日方隆	147
業績指標としての包括利益 —米国における基準開発過程にてらして—	米山正樹	163

徳賀芳弘 教授 略歴・著作等目録

令和3年4月

京大経済學會

〔京都大学経済学会役員〕 (五十音順)

	スティーブン・E・アイビンス		アスリ・M・チヨルパン
	秋田 祐 哉		徳賀 芳 弘
	砂川 伸 幸		西田 祐 二
	依岩 田 高 典	(学会委員)	根山 慎 雅
(評議員長)	江本 上 雅		長谷 川 良
(学会委員長)	岡上 雅 敏	(監査委員)	原久 秀 憲
	門脇 谷 達		久野 秀 憲
(学会委員)	菊田 野 真		久藤 松 文
	北草 野 隆		久藤 松 文
	黒野 澤 久		諸安 柳 矢
	ケガハイッシュウイリ・ルースダン		文諸 安 柳
	高坂 野 出 紀		山遊 劉 若
	佐々木 啓 紀	(学会委員)	山遊 劉 若
	澤島 本 事 直		若若 渡
	神末 松 山 千		
	関山 口 泰 倫	(学会委員)	
	高竹 梨 澤 中		
	田中 澤 中		

— 既 刊 目 次 —

第 195 卷 第 1 号

久本憲夫教授退職記念號

献辞	江 上 雅 彦
論 文	
「働き方改革」をめぐる二つのルール	
—労働時間規制と業務の効率化をめぐる—	上 田 眞 士
アクティベーション政策のアポリア	
—支援されることを拒否する自由—	居 神 浩 夫
「人生100年時代」と日本の労使関係	石 水 喜 夫
地方公務員の中期キャリアの分析—政令指定都市A市の大卒行政職務系職員の異動・昇進の構造とその規定要因を中心に—	松 尾 孝 一
義務から主張へ	
—アカウンタビリティ概念の変遷と整理—	大 藪 毅
専門職組織の変容と非専門職従事者	
—大学組織における職員の可能性—	草 野 千 秋
組織内公募と他の人的資源慣行の相乗関係に関する実証的検討	林 祐 司
「医師の働き方改革」と日本の医療政策	西 村 健 代
女性医師の診療科偏在と地域偏在に関する医療圏分析	深 見 佳 代

久本憲夫教授 略歴・著作等目録

『経済論叢』投稿・執筆要領（抄）

2018年6月14日

京都大学経済学会委員会

3. 通常号の「論文」は、本学会会員、および本学会評議員の推薦がある非会員が投稿することができる。
4. 通常号の「研究ノート」、「書評」、「調査・サーベイ」は本学会評議員、および本学会評議員の推薦がある者が投稿することができる。
9. 本学会会員は投稿料を無料とする。本学会評議員の推薦がある非会員は投稿料10,000円を納める必要がある。ただし、依頼原稿等は投稿料を徴収しない。
10. 本誌に掲載された論文等の著作権は、経済学会に帰属する。したがって、他で当該論文等を使用する場合は、本学会の許諾が必要になる。
11. 本誌に掲載された論文等の全文をデータベース化し、京都大学図書館機構が運営する京都大学学術リポジトリ KURENAI に公開する。
14. 本学会評議員・名誉会員以外の者から、通常号の「論文」としての投稿があった場合は、レフェリー審査を行う。修士課程または博士後期課程に在籍する者の投稿論文は、論文執筆明細の指導教員の欄に署名がある場合に、レフェリー1名で審査を行う。上記に該当しないものは、レフェリーを2名とする。レフェリー審査に基づき、本学会委員会が掲載の可否を次のように決定する。(1) 掲載可 (2) 改訂の上、掲載可 (3) 改訂の上、再審査 (4) 掲載不可。レフェリー審査を受けた論文については、掲載時に「査読付き論文」である旨を明記する。
16. A4判横書き1ページ35字×30行で作成した投稿原稿の電子ファイル一式を、電子メールの添付ファイルで、投稿原稿の責任著者が経済学会事務局へ送付する。
17. 投稿者である責任著者は、本学会ホームページにある論文執筆明細をダウンロードし、論文執筆明細の電子ファイルを投稿論文の電子ファイル一式に添えて、経済学会事務局へ電子メールの添付ファイルで送付する。論文執筆明細には、日本語タイトルと氏名、英語タイトル、ローマ字表記氏名、所属機関、連絡先住所、電話番号、Eメールアドレス、および、投稿者が学生の場合は指導教員署名を記入すること。
18. 原稿は横書きとし、完全原稿であること。
20. 投稿論文の制限字数は下記のようにする。
論文：24,000字以内 研究ノート：12,000字以内 書評：8,000字以内 調査・サーベイ：34,000字以内
図版および表は1枚400字に換算する。
21. 論文の執筆には原則として現代かなづかい、常用漢字を用いる。

以上

執筆 者 紹 介 (掲載順)

工藤 栄一郎	西南学院大学商学部教授
大石 桂一	九州大学経済学研究院教授
潮崎 智美	九州大学経済学研究院准教授
異島 須賀子	久留米大学商学部教授
小川 淳平	神奈川大学経済学部准教授
宮宇地 俊岳	追手門学院大学経営学部准教授
山下 知晃	福井県立大学経済学部准教授
本川 勝啓	学習院大学経済学部准教授
大日方 隆	東京大学大学院経済学研究科教授
米山 正樹	東京大学大学院経済学研究科教授

令和3年4月5日印刷
令和3年4月15日発行

編集兼
発行人

京都大学経済学会

発行所

京都大学経済学会
606-8501 京都市左京区吉田本町
振替口座01090-6-17219番

制作発売

京都大学学術出版会
606-8315 京都市左京区吉田近衛町69



9784814003273

ISBN978-4-8140-0327-3 C3333 ¥2272E

定価：本体 2272円(税別)



1923333022725

Keizai-Ronso**(THE ECONOMIC REVIEW)**

Vol. 195, No. 2

April 2021

*In Commemoration of the Retirement of Professor Yoshihiro TOKUGA***CONTENTS**

Dedication to Professor Yoshihiro TOKUGA	<i>Masahiko EGAMI</i>
General Article :	
A Significance of Studying Accounting Practices in Ancient Mesopotamia	<i>Eiichiro KUDO</i>
Process of the Creation of the Governmental Accounting Standards Board (GASB) in the United States	<i>Keiichi OISHI</i>
Development of International Accounting Research:	
A Review on Qualitative Research of Developed Countries	<i>Tomomi SHIOSAKI</i>
The Impact of Expanding the Auditor's Report in Japan:	
Can KAM Change Audit ?	<i>Sugako IJIMA</i>
Characteristics of Financial Reporting and Disclosure in Retirement Benefits	<i>Jumpei OGAWA</i>
Accounting for Goodwill: Literature Review of Empirical Studies	<i>Toshitake MIYAUCHI</i>
A Review of Research on Accounting for Goodwill by an Accounting Standard-Setter and Others	<i>Tomoaki YAMASHITA</i>
The concept of materiality in non-financial information disclosure:	
A narrative synthesis	<i>Katsuhiko MOTOKAWA</i>
Fallacy in Basu Measure of the Asymmetric Timeliness Test:	
An Examination of the Bias from Skewed Return	<i>Takashi OBINATA</i>
Performance-Measurement Aspect of Comprehensive Income:	
in the Context of US Standards Setting Process	<i>Masaki YONEYAMA</i>
Brief Biography of Prof. Y. TOKUGA / Bibliography of Prof. Y. TOKUGA's Works	

Published

by

KYOTO DAIGAKU KEIZAIGAKU-KAI

(KYOTO UNIVERSITY ECONOMIC SOCIETY)